

## 事業報告書

1 支援団体名	NPO法人 有明海ぐるりんネット								
2 事業名称	有明海から自然環境の復活を世界へ(シンポジウム)								
3 実施日時	平成20年7月1日(火曜日) 13時15分～17時00分								
4 実施場所	佐賀市文化会館大ホール (〒849-0923 佐賀市日の出1丁目21-10)								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>第1部 記念講演「森から未来をみる」 C.W.ニコル氏(作家)          内容:作家であり、自然環境の国内外で啓発活動を行っているニコル氏が自らの経験をもとに、森の大切さ、自然保護活動のすばらしさ、特に子どもたちに言及して未来に生きる子どもたちにすばらしい自然を残していく活動を続けていこうと結びました。</p> <p>第2部 パネルディスカッション「森と海がつながりあう地域づくり」          パネリストに多良正裕氏(地域おこしグループ「さざんか塾」塾長)、井上一夫氏(佐賀水ネット代表・小鳩の家保育園長)、亀本昌子氏(フォーラム鹿島)、島谷幸宏氏(九州大学大学院工学研究院)を迎え、コーディネーターの荒牧軍治(NPO 法人有明海ぐるりんネット代表理事)がこれからの地域づくりのキーワードを模索しました。「里山の生きものと仲良くしたい」「疑似体験ではなく実体験」「発見と体験」「自然再生」というキーワードがパネリストから提案され、生きものたちがたくさんいる有明海・佐賀で子どもたちに魅力を伝えていこうとまとめました。</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>1)「有明海」「佐賀」という自然豊かな場所に住んでいることを市民に啓発するようなシンポジウムが開催できました。</p> <p>2)「人」と「生きもの」たちが共に生きることができる環境づくりを促すようなシンポジウムが開催できました。</p> <p>3)「有明海」「佐賀」を愛し、慈しむような子どもたちの育成に弾みをつけるようなシンポジウムが開催できました</p>								
6 参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">842名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td style="text-align: right;">40名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加 ((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">800名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加 ((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> </table>	総人数	842名	(1) 主催者参加	40名	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	800名	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	2名
総人数	842名								
(1) 主催者参加	40名								
(2) 日本人参加 ((1)を除く)	800名								
(3) 外国人参加 ((1)を除く)	2名								
7 今後の方針	シンポジウムをきっかけにいろいろな団体に有明海の魅力を伝える活動に参加するように呼びかけていきます。そして、一人でも多くの市民に海、川、平野、山という自然を大切にする活動への理解を深めていく活動の輪を広げます。								

会場入り口の様子



受付の様子



会場内の様子



記念講演 C.W.ニコル氏



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションの様子

